



## 江戸っ子の知恵と遊び、 現代の表現も楽しんで。



秋田出身の藤井勉さんなど、出展作家によるアーティストトークが行われました。  
●7月1日：ホキ美術館展開会式・内覧会



江戸時代のクイズ「判じ絵」に挑戦しました！  
●6月15日：江戸の遊び絵づくし展セカンドスクール



親子でいっしょに影絵のポーズ！決まってる？  
●5月15日：江戸の遊び絵づくし展影絵ワークショップ



水彩絵の具による、多彩な表現テクニックに脱帽です！  
●6月4日・5日：美術館教室「水彩で描く」



和と洋の優雅なハーモニーが心地よく響きます。  
●5月22日：琴とフルートのコンサート「遊〜江戸を奏でる〜」



職場体験で、学芸員のギャラリートークを体験しました。緊張する？  
●7月28日：高等学校インターンシップ



はじめてのローラー！じょうずにできるかな？  
●7月17日：びしゃびしゃアート（午前・館内でローラーあそび）



## 江戸の遊び絵づくし展

～おもしろ浮世絵ご覧あれ!～

2016.4.23(土)–6.26(日)

江戸時代の庶民を魅了したメディアである、浮世絵。遊郭や市井の美女を描いた「美人画」や、歌舞伎役者のプロマイドだった「役者絵」など、モチーフに応じて様々なカテゴリーがあります。この展覧会では江戸の娯楽を担った「遊び絵」の魅力を、展示作品177点の大ボリュームでご紹介しました。

遊び絵の魅力は、その奇想天外な発想と面白い形でしょう。浮世絵師が知恵や発想を駆使して作り上げた造形世界は、現代の私たちにとって古びた物ではなく、むしろ新鮮な驚きや、共感できるような笑いに満ちたものでした。読み解くのに頭を使う作品も多く、「脳トレ」の効果もあったかも知れませんね。今回の展覧会では、国芳の《相馬の古内裏 瀧夜叉姫と大骸骨》など、秋田展だけの特別出品作品の展示のほか、遊び絵を体感できるコーナーも設置。会期中は11,909名のお客様にお楽しみいただきました。(担当:鈴木、木村)

- 特別講演会「江戸の遊び絵を解く」 4.23  
講師：中右瑛さん（国際浮世絵学会常任理事）
- 担当学芸員によるギャラリートーク 4.24
- ABSアナウンサーさんとのギャラリートーク  
出演：橋田恵理子さん 5.8  
出演：関向良子さん 6.5
- ミュージアムコンサート「遊～江戸を奏でる～」 5.22  
出演：田中郷子さん（琴）、岡田恵美子さん（フルート）
- ワークショップ「等身大！影絵で遊ぶ!!」 5.15、6.11  
講師：当館学芸主事

### 2016年コレクション展第1期

## 齋藤寅彦 時の跡

2016.4.13(水)–7.10(日)

コレクション展の第1期では、由利本荘市西目町出身の洋画家・齋藤寅彦さんをピックアップしました。ブルーグレーの落ち着いた色調で描かれた初期作品から、渋みのある朱が用いられるようになった時期、油彩とテンペラの混合技法に推移した頃、そして近作と、これまでの画業を時系列に沿って俯瞰する展観となりました。お客様からは「人柄が偲ばれる温かな作品の数々に惹きつけられた」というご感想が多く寄せられ、また、セカンドスクールで訪れた子供たちも、画面に描かれたモチーフに興味津々の様子でした。(担当:奈良)

- ギャラリートーク 4.16、6.12

齋藤寅彦「時の跡【繋ぐ】」2007(平成19)年制作 →



ABSアナウンサーさんとのギャラリートーク ●5月8日

田園のいろ、田園のかたち。

### 2016年コレクション展第2期

## 没後60年 高橋萬年

2016.7.13(水)–10.10(月・祝)

秋田市出身の日本画家、高橋萬年の没後60年にあたり、2期コレクション展で特集展示を行っています。萬年は同郷出身の寺崎廣業に師事したのち、大正・昭和期の秋田と東京を往復しながら制作に励みました。

萬年はよく「線の画家」として紹介されます。鍛え上げられた線描には、その虚弱だった体質とは裏腹に、芯のある鉄線のような強さや美しさがありますが、萬年の魅力は線だけではないと思うのです。柔らかな色調、考え抜かれたモチーフの配置・画面構成などによって、洗練された印象が生み出されています。生来の体の弱さゆえに、東京での制作を断念した萬年は、より一層秋田の田園風景をテーマに制作を重ねますが、田園に近しく接しながら、どこか土臭さとはかけ離れたモダンな印象を漂わせるその作品には、東京での絵画修行や研究の成果が現れているのです。萬年の追求した田園の「いろ・かたち」を、どうぞゆっくりとお楽しみください。(担当:鈴木)

- ギャラリートーク 7.24、9.18



モチーフと時間をかけて  
ジックリと語り合い、  
対峙する。  
そこから得られた、  
私だけの真実を描きたい。  
(齋藤寅彦)





保木館長（中央）とご来賓によるテープカット ●7月1日



リアリズム絵画の第一人者・野田弘志さんによる講演会 ●7月2日



「美術館を描こう！」ワークショップより ●8月6、7日



高橋萬年「農夫」、1940（昭和15）年制作の大作。

## ホキ美術館展

—これが写実だ！驚きと感動の絵画

2016.7.2(土)–9.11(日)

世界初の写実絵画専門美術館、ホキ美術館の所蔵品による東北初となる展覧会です。本展では、現代日本の写実絵画を収集するとともに、新しい作家の発掘と育成にも努めるホキ美術館の所蔵品から、昨年逝去された日本写実絵画の第一人者・森本草介さんや写実界を常にリードし続ける野田弘志さん、秋田出身の藤井勉さんなど、28名の作家による65点の作品をご覧いただきました。

本展の関連イベントとして、展覧会初日には、「リアリズム絵画とは何だろう」と題して野田弘志さんによる講演会が開かれました。レオナルド・ダ・ヴィンチやミケランジェロなどにも触れながら、見た目だけではない、人の命や物の存在感を表現することが重要であるとお話に、約100名の聴講者は熱心に耳を傾けていました。また8月6日、7日には、安彦文平さんを講師にお迎えし、「美術館を描こう」と題してワークショップが開かれました。写真を使った初めての表現方法により、写実的に生き生きとした風景を描くことができた受講者は、たいへん良い勉強になり今後の制作にもぜひ生かしたいと喜んでいました。さらに8月28日には、「浅野未希&斎藤洋ヴァイオリン・ピアノデュオ～アフタヌーン名曲カフェ～」が開かれ、多くの聴衆を魅了しました。

展覧会の開催に際して、制作に長い時間と労力がかかる貴重な写実絵画作品を、快くお貸しいただきましたホキ美術館長様はじめ関係各位に、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。（担当：保泉、西野）

- 記念講演会「リアリズム絵画とは何だろう？」 7.2  
講師：野田弘志さん  
（広島市立大学名誉教授・噴火湾アートビレッジ顧問）
- 担当学芸員によるギャラリートーク 7.10、7.31
- ワークショップ「美術館を描こう！～写実に挑戦！～」 8.6、7  
講師：安彦文平さん（宮城教育大学准教授）
- ミュージアムコンサート「ヴァイオリン・ピアノデュオ～アフタヌーン名曲カフェ～」 8.28  
出演：浅野未希さん（ヴァイオリン）、斎藤洋さん（ピアノ）

### 上半期に実施したそのほかの事業

#### キンビ・創作体験プログラム

- 「私って誰だろう？ 写真コラージュポートレート」 5.8  
講師：浅野壽里さん（美術家・ART&ENGLISH“森のおと”主宰）
- 「水彩で描く」 6.4、5  
講師：鈴木司さん（秋田公立美術大学美術センター教授）
- 「びしゃびしゃアート」 7.17  
講師：当館学芸主事
- 「コマ撮りアニメーション」 8.20  
講師：松村泰三さん（東北芸術工科大学准教授）
- 型染め教室「ハンカチを染めよう」 9.3、4  
講師：森香織さん（秋田公立美術大学助教）

#### “ふれんどりーギャラリー”を活用した展示事業

- みんなの教室予告展示  
「こどもあーと2016」 4.15～5.8
- 平鹿中一人1作品展 ～表現する心～ 7.24～8.7
- 西目高校「美術の時間」展 8.9～9.6

#### 先生のための美術館講座

- 「手づくりメディアアート」 8.21  
講師：松村泰三さん（東北芸術工科大学准教授）



## 橘小夢とその時代展 一幻の画家、ふるさとに咲く

2016.9.17(土) - 11.27(日)

「幻の画家」「悲劇の画家」「発禁の画家」など様々に評され、近年再注目されている県出身の画家・橘小夢（たちばな・さゆめ：明治25～昭和45）の展覧会が始まりました。小夢は中学校卒業とともに上京し、竹久夢二などが一世を風靡していた大正～昭和初期に、書籍の挿絵や装幀、日本画の制作、舞踊詩の作詞、舞台衣装のデザインなど、多彩な分野で活躍した画人です。しかし、関東大震災による作品焼失や画集出版の断念などが重なったこと、また、第二次大戦後にはひっそりと表舞台から身を引いたことなどにより、画業の全容は長い間、謎に満ちていました。

本展では、小夢が家族に残した作品をはじめ、近年、秋田県内の複数の愛好家宅で発見された貴重な肉筆画などを展示し、小夢の画業を振り返ります。また、東京台東区の弥生美術館・竹久夢二美術館のご協力を得て、小夢も敬愛していた竹久夢二を始め、大正ロマン・昭和モダン期に活躍した画家たちの作品も展示し、古き良き時代の面影をたどります。ぜひご来場ください。（担当：奈良、藤井）



橘小夢「花魁」1923(大正12)年

- オープニング・スペシャルトーク「秋の秋田で小夢を語る」 9.17  
ゲスト：荒俣宏さん（作家・評論家）、加藤宏明さん、加藤千鶴さん（橘小夢・孫）
- ギャラリートーク 9.25、10.23
- 講演会「橘小夢の生涯と仕事／竹久夢二と秋田」 10.9  
講師：中村圭子さん（弥生美術館学芸員）

## REPORT! ●●●●●●



彫刻広場に、子どもたちの歓声がひびきました！●7月17日

キンビ・創作体験プログラム “きっすあーと”  
「びしゃびしゃアート」

昨年度からはじめた未就学児対象の“きっすあーと”。小さな子どもたちが美術館に親しむことができるようにという願いの下、今年度、新たなプログラムを加えて実施しています。

第一弾は「びしゃびしゃアート」。彫刻広場の芝生の上で、参加者全員が白いTシャツを着、水鉄砲を使って赤、青、緑、黄色の色水で遊びました。お互いに色水をかけ合いっこしたり、空めがけて高く飛ばし合ったり。初めて会った子ども同士、自然にコミュニケーションが生まれ、思いっきり楽しむことができました。様々な色や形の模様が付いたTシャツは思い出の品となりました。（担当：西野）

## INFORMATION ●●●●●●

## 2016年度・下半期の展覧会

## 特別展・企画展

- 生誕150年 寺崎廣業とその時代展 12.3～2017.2.5
- 絵画×物語 描かれたストーリー 2017.2.11～4.16

## コレクション展

- 第3期 異国へのまなざし－画家たちが描いたもの－ 10.13～2017.1.9
- 第4期 My コレクション－寄託作品のご紹介－ 2017.1.20～4.9

## 館外展示など

- ネットワーク事業（会場：秋田県立図書館）
- 第1期 食 ～自然からの恵み～ 10.2～10.23
- 第2期 油彩画の魅力 ～横手・湯沢の洋画家たち～ 12.14～2017.1.30
- 出前美術館 ～ARTが学校にやってきました～ in 大湯小・中学校  
（会場：大湯村立大湯中学校） 10.29～11.3
- 出前美術展－画家たちの写真帳－  
（会場：能代エナジウムパーク） 2017.2.15～2.26

## つくる、しる、たのしむ（2016年下半期）

## キンビ・創作体験プログラム

- きっすあーと（未就学児対象）
- だるまアート 10.16
- 美術館教室（中学生以上一般）
- 日本画教室『猫を描こう』（全2回） 11.5、6  
講師：小笠原光さん（日本画家）

## みんなの教室

- （小学生以上一般。小学生低学年の児童が参加する場合は保護者要同伴。）
- なが〜い絵巻物を描こう 12.11

## しる・たのしむ

- 橘小夢とその時代展講演会 10.9
- トレ コンアモーレ Autumn コンサート 11.3
- あぎたロシア音楽祭記念コンサート 2017.2.5

秋田県立近代美術館  
Akita Museum of Modern Art

開館時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）  
休館日 12.29～31、2017.1.10～19（予定）

013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46（秋田ふるさと村内）  
TEL: 0182-33-8855 FAX: 0182-33-8858  
E-mail: akitamama@rnac.ne.jp

交通 車●秋田自動車道・横手インターより3分  
バス●横手バスターミナル（JR横手駅東口）～ふるさと村 15分

ホームページは「秋田県立近代美術館」で検索！  
twitter、facebook も開設しています！

- 発行編集・秋田県立近代美術館
- 2016年9月30日発行

